

建設産業（土木）担い手確保・育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	土木管理課		課長名	法山 雅浩			
事業主体		県			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度			
事業実施方法		委託、補助													
補助率		1/2													
福井県長期ビジョン における位置付け		分 野 [安心を高める（地域力） 政 策 [防災先進県ふくいの実現]]			関連する県の計画等		[]								
[事業目的]															
建設産業のイメージアップや就業環境等改善による入職者確保、離職防止を図り、災害復旧や社会インフラの維持・管理に重要な担い手を確保・育成する。															
[事業内容]															
<p>(1) 建設産業（土木）のイメージアップ 【予算額：3,992千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○入職者確保のため、建設産業（土木）への関心を高めるとともにイメージアップを図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営者意識改革セミナー（2回）や女性技術者と学生との交流会を開催（1回） ・ イメージアップ動画によるPRの実施（CM、映画館、SNS、ネット発信） <p>(2) 就業環境等の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○離職者防止のため、就業環境改善や若手技術者の研修費用を助成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 就業環境改善のための設備整備や若手研修研修会費の補助 【補助上限額：10万円、補助率：1/2、予算額：5,000千円（50社）】 ○建設産業（土木）における働き方改革の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT活用工事を促進するためのソフト・設備導入の補助 【補助上限額：50万円、補助率：1/2、予算額：4,000千円（8社）】 <p>(3) 建設工事従事者の安全及び健康確保に関する計画の策定 【予算額：260千円】</p>															
[受益者] 建設業者（土木一式）						[想定される受益者数] 757社									
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点									
建設産業（土木）に対するイメージアップとして、 <ul style="list-style-type: none"> ・ CMの作成・放映 ・ 女性技術者同士の交流会や小冊子の印刷 ・ 経営者助成を対象としたセミナーの開催 ・ 就業環境改善のための設備整備等の助成 ・ ICT工事推進のための設備導入の助成 を実施						<ul style="list-style-type: none"> ・ CM作成経費の削減 ・ 女性技術者同士だけでなく、女子学生も交えて交流会を開催 ・ ICT活用工事の助成を4社から8社へ増額 ・ 単年度予算として、計画策定の予算を計上 									

建設産業（土木）担い手確保・育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	土木管理課	課長名	法山 雅浩			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	委託、補助					□ 法定受託事務			■ 補助金					
補助率	1/2					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	13,252				13,252									
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移			14,163	13,252	<ul style="list-style-type: none"> ・ CM作成経費の削減 ・ 女性技術者同士だけでなく、女子学生も交えて交流会を開催 ・ ICT活用工事の助成を4社から8社へ増額 ・ 単年度予算として、計画策定の予算を計上 									
2月現計予算額の推移			14,163											
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	建設産業（土木）の離職率の減少（％）	(目標)	(31)	(27)	(23)		<ul style="list-style-type: none"> ・ R3までに全業種の平均値（23%）まで減少させる ・ 就業環境改善の助成については、R3までに希望者数（300社）の約50%を助成 ・ ICT活用工事の助成については、ICT活用工事の件数をR6までに土木工事全体件数（約500件）のうち1割を目標とする。 							
活動指標	設備整備等への助成（ICT含）（社）	(目標)	(54)	(58)	(58)									
他県の状況	<p><岡山県></p> <p>○建設産業人材確保プロジェクト事業 11,922千円</p> <p>・ 建設現場見学会の開催や中学生への情報発信 等</p> <p><熊本県></p> <p>○建設産業イメージアップ戦略事業 12,997千円</p> <p>・ 建設産業の動画放映や学生等を対象とした現場説明会の開催 等</p> <p>○建設産業入職支援事業 400千円</p> <p>・ 県内の建設産業で働く女性を対象とした交流会の開催</p>					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

建設産業 外国人労働者受入環境整備事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	土木管理課	課長名	法山 雅浩			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	1/3													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [学びを伸ばす(人材力)] 政策 [多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]				関連する県の計画等		[]							
[事業目的]														
建設団体などと連携し、県内建設産業において外国人労働者が働きやすい環境を整備することにより、外国人労働者の受入を進る。														
[事業内容]														
(1) 外国人労働者受入体制の整備・セミナーの開催 【予算額：380千円】 ○建設現場における外国人労働者の対応など、様々な問題に対する情報を共有し、その解決を図るため建設企業を指導するとともに、外国人労働者の対応等を学ぶセミナーを実施 (2) 外国人労働者受入企業に対する支援 ○外国人労働者の採用活動経費や賃貸住居に要する経費を支援 【補助上限額：20万円、補助率：1/3、予算額：8,000千円(40社)】														
[受益者] 外国人労働者(技能実習生)						[想定される受益者数] 350人								
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				市町との連携状況								
[事業の評価]														
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点								

建設産業 外国人労働者受入環境整備事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	土木管理課	課長名	法山 雅浩			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、補助					□ 法定受託事務			■ 補助金					
補助率	1/3					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	8,380				8,380									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移				8,380										
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	外国人労働者の受入人数 (人)	(目標)		(110)	(120)	(120)	・令和5年度までに、外国人労働者の受入人数を全国割合並みに引き上げる (H30:450人→R4:800人)							
活動指標	採用活動経費や賃貸住居 の経費の助成(社)	(目標)		(40)	(40)	(40)	・1社あたり3人程度の受入(120社÷3人=40社)							
他県の状況	○群馬県【予算額：2,772千円】 ・中小建設業者に対し、中小企業診断士を派遣し、外国人の受入について助言等を実施					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 外国人労働者受入環境整備事業(産労部) (役割分担) ・産業労働部の事業で、建設産業も含めた初度備品等を整備 ・土木部の事業で、採用活動経費や住居家賃に対する助成を実施						

季節間蓄熱融雪システムの機能向上に関する研究開発

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	土木管理課	課長名	法山 雅浩	
事業主体	県（福井県工業技術センター）				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H30 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[成長を創る（産業力）]				関連する県の計画等		[]				
[事業目的]												
<p>福井県が開発した夏季の太陽熱を蓄え融雪に利用する技術について、開発後約10年が経過したことから、運転実績データを基に制御技術の高度化・効率化を図るとともに、異常発生の際の点検・診断の自動プログラム化を実現することで、普及拡大を図る。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 設計基準の最適化・・・開発後約10年が経過し、データが蓄積されたことから、最適化するための研究開発を行う ①既導入設備の運転実績の収集・分析・検証 ②最適な設計基準（蓄熱用地中杭の配置や本数の設計方法等）を策定 ③設計基準のマニュアル化</p> <p>(2) 運転制御の効率化・・・これまでの路面温度による運転制御（始動・停止）以外にも、過去の稼働実績データに基づいた制御プログラムの改良を行う ①制御プログラム（改良版）の試作 ②制御プログラム（改良版）の実証試験による性能確認 ③実証試験結果に基づく制御プログラムの見直し</p> <p>(3) 自動診断技術開発・・・通水状態の異常を自動診断により早期発見、原因箇所の特が可能な技術を開発する ①基本構造を再現した模型実験による自動診断方法の検討 ②実験で検討した方法を実証試験により性能確認 ③幸橋における自動診断技術の実装・運用試験</p>												
[受益者] 道路管理者（維持管理費の縮減）						[想定される受益者数] —						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				市町との連携状況						
[事業の評価]												
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点						
(1) 設計基準の最適化 ②分析結果をふまえ、設計基準の見直し (2) 運転制御の高効率化 ②試作した制御プログラムを使用し実証試験を実施 (3) 自動診断技術開発 ②実験で研究開発した自動診断技術を現場において実証試験を実施						(1) 設計基準の最適化 ③設計基準を見直しし、マニュアル化 (2) 運転制御の高効率化 ③実証試験結果に基づく制御プログラムの見直し (3) 自動診断技術開発 ③幸橋における自動診断技術の実装・運用試験						

季節間蓄熱融雪システムの機能向上に関する研究開発

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	土木管理課	課長名	法山 雅浩			
事業主体	県（福井県工業技術センター）				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率						□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	1,646			(繰入) 1,646		雪対策基金繰入金								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移		1,713	1,849	1,646	(1)設計基準の最適化 (2)運転制御の高効率化 ③設計基準を見直し、マニュアル化 ③実証試験結果に基づく制御プログラムの見直し (3)自動診断技術開発 ③幸橋における自動診断技術の実装・運用試験									
2月現計予算額の推移		1,713	1,849											
決算額の推移		1,713												
前年度までの 主な増減理由	Windows10移行に伴うシステム改修費の増 (R1のみ)													
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	(1)設計基準の最適化 (目標) (2)運転制御の効率化 (3)自動診断技術の開発 (実績)	(1)~(3)①	(1)~(3)②	(1)~(3)③			・運転制御の効率化を自己診断技術を開発し、それらを踏まえ、最適な設計基準を策定 ・最適化・効率化による運転コストの約1割縮減、点検診断プログラムの実現							
活動指標	(目標) 実績	(1)~(3)①	(1)~(3)②	(1)~(3)③			・(1)~(3)は関連性が高いため、並行して研究を進める。 ・既存施設のデータを収集・分析し、効率的な運転プログラムと異常の自己診断技術の 実証実験を行い、設計基準の見直しを行う。							
他県の状況	・空調機を含む地中熱利用システム全体では、全国で約2,000件が普及 (H28.3件環境省調べ) ・他県での試験研究(予算も含)はなし				関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)							